

希望の進路に進むために、 残りの時間をどう使う？

中学校での最後の定期テストが終わりました。こうやって毎日が何かしら「中学校最後の〇〇」が終わっていきます。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるほど、この3ヶ月は時間の進み方が早いような気がします。みなさんはどうですか？

プレッシャーをかけるわけではないですが、私学入試まであと3日です。自分のルーティーンが確立されている人はそれでも良いですが、そうでない人や公立受験が本命の人は、残り1ヶ月の時間の使い方を紹介するので、試してみてください。

①まずは過去問。

中学校でのテストが全て終わったので、ここからは私立でも公立でも、とにかく過去問を解いてみましょう。

②失点の分析をして、ノートにまとめる。

過去問を解いたら、失点の分析をします。

- ・「時間が足りなかった」→「どこで時短できたか」
- ・「知らなかった」→「どんな知識があれば解けたか」
- ・「うっかりミス」→「再発防止のために何をするのか」
- ・「根本的な勘違い」→「なぜ気づけなかったのか」
- ・「解答を見てもよくわからない」

→「もう少し早く見切りをつけて捨てられなかったか」

失点の理由はほとんどこんな理由です。入試は、限られた時間でできる問題を確実に得点することが必要です。こういった分析をきちんとして取り組むことが必要です。



③同じ失点をしないために、過去に解いた教材をやり直す。

例えば、単語力が足りない場合、過去にやった単語帳を見直します。新しい教材を買わずに、今持っている教材でできる問題を増やしましょう。その方が勉強効率が良いのです。

この③が間に合えば、結果につながります。とにかく基本的な勉強を徹底してください。

④体調管理を徹底する。

残りの時間の勉強は、この①から③をひたすら繰り返せば良いのですが、最悪なことは、このタイミングで体調を崩すことです。特に夜更かしして勉強に取り組む方が体調を崩しやすいし、記憶にも残りにくいと言われています。

うがい、手洗い、手指消毒などの基本的な感染症対策と早寝早起きを徹底してください。「マスク不要」も議論され始めてますが、受験生は絶対に「マスク着用」です。



手洗い・うがい



⑤感謝の気持ちを持って勉強する。

ここまで頑張ってきたのは、環境を整えてくれ、親身になって相談に乗ってくれた保護者の方の助けがあったから、そして過去の自分が努力したからです。感謝の気持ちを持って、投げやりにならず、最後まで油断せず、勉強しましょう。

受験が終わった人は、直接的に、間接的にいろんな方法で、これからまだ頑張る人のために雰囲気作りや励ましをぜひお願いします。

すべては、みなさんが希望の進路に進むためです。3月の終わりに「あの時頑張ってたよかった」という思いができるように、あと1ヶ月半、残り時間をうまく使ってください。

(参考記事：ダイヤモンドオンライン)